

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月6日

協議会名:西部コミュニティバスを守り育てる会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者:根羽村	運行系統名:西部コミュニティバス(阿智中学校行き) 運行区間:根羽村～阿智中学校	利用割合・影響の大きい高校生の通学利用者数の把握に努めるとともに、一般利用者の利便性向上に向け、平成29年10月の新規バス停2箇所設置。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C	平成30年6月の計画策定時の目標14,413人以上に対し高校生の定期的な利用者が見込みよりも大幅に減少したため、利用者実績が11,492人(H30.4～H31.3)となった。	高校生の通学利用を主たる目的とした運行のため、その年の高校生数により利用者は増減するものの、今後も生徒数全体の減少は明らかであり、高校生以外の一般利用者の利用促進を図ることが急務となる。 人口減少、少子高齢化が進む地域にあって、一般利用者の大幅な増加も難しいが、地域のニーズ把握に努め、当面は免許返納者等の高齢者の利用料無料化等、公共交通利用促進の具体的な対策を検討していく。
事業者:根羽村	運行系統名:西部コミュニティバス(阿智高校止まり) 運行区間:根羽村～阿智高校	同上	A	同上	C	同上	同上